

むくのきだより

2月号

平成29年2月1日

港区立赤羽幼稚園長 小鹿原 賢



「目を合わせて、『ぴーん』」

園長 小鹿原 賢

1年の内で、1月20日の大寒から2月3日の節分の期間が一番寒い時期だと言われています。しかし、今年は3学期が始まってからすぐに寒くなり、プールの水が氷ったり中門近くにある土の地面が霜柱となったり、寒い日が続きました。港区内にある他の幼稚園では、インフルエンザが流行り心配です。本園では、体調を崩す子どもがいますが、あいさつや遊びを元気よくしています。

2月に入りました。園庭の桜の木を見ると、枝についている蕾がふくらみ春の準備をしていることがわかります。プランターのさやえんどうも種から芽が出て早くも葉が広がり始めています。登園をしてすぐに水をあげる子どもがいました。寒いながらも植物の成長感じているのです。2月は進級・修了に向けて準備をしっかりさせていきます。

皆様から頂いた園評価は、どれもよい評価を頂き大変うれしく思いました。特にあいさつについてはよく評価していただきました。私も、毎朝一人一人の子どもとのあいさつをしていますが、姿勢よく大きな声でできるようになり子どもの成長を大変嬉しく思います。

1月の剣道教室の礼儀の指導で、「正座で目を合わせたら礼」を行いました。そうしたらどうでしょう。今まで『ぐにゃ』としていた礼が、『ぴーん』と姿勢よくなりきれいにできたのです。「目を合わせる」という相手意識をもたせる、もっと言えば目を合わせて礼をするという本物の礼法の指導をしたことにより、子どものあいさつがよくなったのです。本物を知り体験することや、事の本質をわかりやすく説明することで、子どもの取組みがよくなっていくことがわかりました。

「子どものあいさつがよくなっている。」私たち教職員は、皆様から頂いた評価をエネルギーとしてこれからも園教育の充実に努めてまいります。

まもなく「はっぴょうかい」があります。今年は、会場を遊戯室から小学校の講堂を借りて行います。広い会場での発表ですので、声の出し方や演技の仕方、鑑賞態度等指導を十分にして、思い出に残る「はっぴょうかい」にしてまいります。多くの皆様のご来場をお待ちしております。



剣道教室「目を合わせて『ぴーん』」

剣道教室



年長児の凛々しい姿